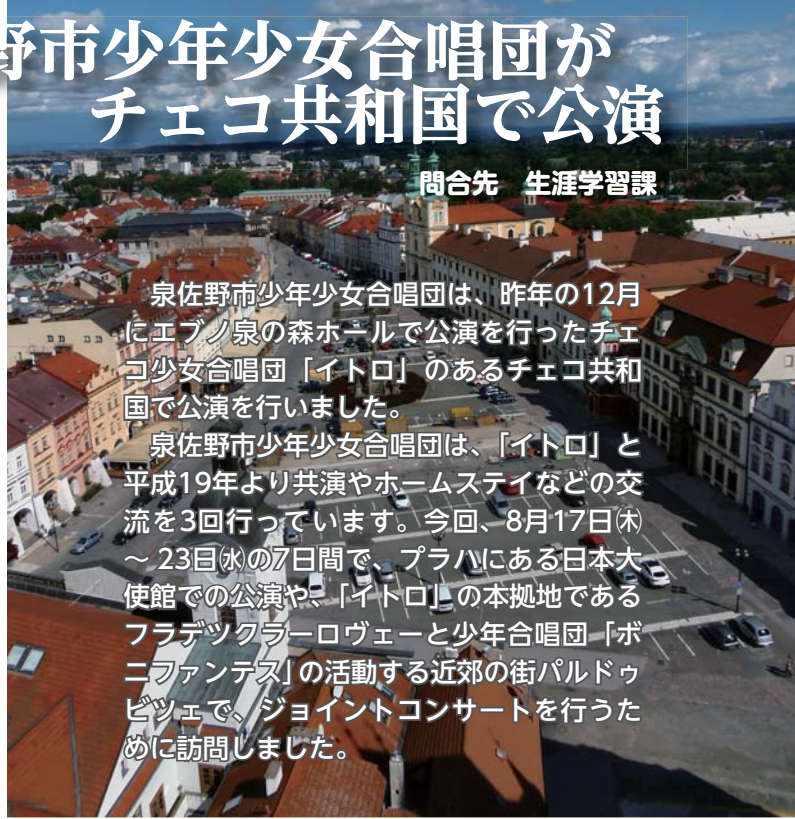


泉佐野市少年少女合唱団が チェコ共和国で公演

問合せ 生涯学習課



泉佐野市少年少女合唱団は、昨年の12月にエブノ泉の森ホールで公演を行ったチェコ少女合唱団「イトロ」のあるチェコ共和国で公演を行いました。

泉佐野市少年少女合唱団は、「イトロ」と平成19年より共演やホームステイなどの交流を3回行っていきます。今回、8月17日(木)～23日(水)の7日間で、プラハにある日本大使館での公演や、「イトロ」の本拠地であるフラデツクラロヴェーと少年合唱団「ボニファンテス」の活動する近郊の街パルドゥビツェで、ジョイントコンサートを行うために訪問しました。



8月19日(土)の午後はパルドゥビツェへ移動し、そこで活動している少年合唱団とのジョイントコンサートを行いました。泉佐野の合唱団は、ゆかた姿で歌を披露し、その後少年合唱団が登場。その間に制服に着替えて再度登場しました。

8月19日(土)の午前、プラハの日本大使館の広報文化センターを会場に、在チェコ日本国大使の嶋崎ご夫妻をはじめ関係者の方にミニコンサートを開催し歌を披露しました。コンサート終了後、大使夫妻に泉佐野産のタオルマフラーとタオル筆で描いた絵を贈呈しました。



8月20日(日)は、いよいよイトロとの合同コンサートです。たくさんの方が見に来てくれました。



ホストファミリーとお別れの日、イトロの団員やホームステイでお世話になったみなさんは、帰りのバスに乗る直前まで見送りをしてくれました。

今回のチェコ訪問は、合唱団にとってとても貴重な体験となりました。

泉佐野合唱団がゆかた姿で歌い、その後少女合唱団イトロが歌っている間に制服に着替えて再び登場して歌います。最後はイトロと一緒に歌いました。

「夏は来ぬ」などの童謡・唱歌のメドレーや「ふるさと」、またチェコの歌「モルダウ」などを演奏し、大きな拍手をいただきました。最後は「イトロ」と一緒に「おお牧場はみどり」をチェコ語と日本語で歌い、国際交流の素晴らしい場となりました。